

センターだよりー林檎ー

# りんご

放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペース



平成29年10月発行



「下北ジオパークをサポートする地域の人材の育成プロジェクト」より  
北部海岸ジオサイト実地見学の様子（平成29年9月3日撮影、関連記事8ページ）



## 祝卒業・入学／秋の行事特集



- 2 | 巻頭言:「回復力」
- 3 | 平成29年度第2学期入学者のつどい・全学生必見！学生生活をスムーズに送るために
- 4 | 平成29年度第1学期学位記授与式・卒業生のことば
- 6 | 放送大学学生研修旅行
- 8 | 「下北ジオパークをサポートする地域の人材の育成プロジェクト」実施報告
- 9 | 学生生活をもっと楽しく！各種学生団体のごあんない
- 10 | 平成29年度第2学期学習相談とゼミのごあんない
- 11 | 10・11・12・1月のスケジュール
- 12 | 事務室からのお知らせ

# 巻頭言

-かんとうげん-

## 回復力

青森学習センター所長 倉又 秀一



弘前市の緑の相談所が主催する、市内巨木めぐりの半日ツアーに参加した。年配の参加者が多かったが、神社などに植えられている巨木や珍しい種類の樹木を見学するツアーである。

そのツアーのなかで、ある神社の「ハリギリ」を訪問した。神社のお堂の上を横切るように、枝を横にも張って、その大きさそのものに圧倒されたが、その時の樹木医の言葉が印象に残っている。

「今はこのように木に近づき、幹に触ることもできるが、とても大きい木ということで注目を集め、多くの人に来て、根元が踏み固められてしまうことがおきると、柵を作ったりして、規制をかけなければならない。」

少しの人数ならば樹木の生育に影響を与えないが、ある限度を超えるとその影響が出てくる。少人数の場合影響がないということではなく、樹木の持っている回復力によって影響が出てこないと考えべきだろう。一人ひとりが根元を歩き回るのは決してダメージを与えていないのではなく、ダメージは与えるが回復力によってその影響が顕在化してこないということなのであろう。その回復力を超えてダメージを与えられると、影響が出てくる。

これで思い出すのは、白神山地の中の津軽峠にあるマザーツリーと呼ばれるブナの巨木である。10年以上前私の訪ねた時は、木の周りには何も無く、自由に歩き回ることができた。ネット上にアップされている最近の写真を見ると、木に近づく道の両側にはロープが張っており、木のそばには木製のテラスが作られており、ブナの根元を踏み固めないようになっている。樹齢400年といわれ、簡単に近づくことができ、多くの人に来るので、保護をする必要があり、そのような仕様になってしまったのだろう。

木の周りを歩く時、限度をここまでならダメージを与えないと見るのではなく、回復力の限界と捉え、我々はダメージを与えていると認識すべきなのであろう。

# 平成 29 年度第 2 学期入学者のつどい

平成29年10月1日（日）と10月8日（日）の両日、青森学習センターと八戸サテライトスペースにて平成29年度第2学期入学者のつどいが行われました。放送大学学歌演奏や学長挨拶のDVD上映、センター所長式辞、新入生と在学生代表の挨拶、学友会会長祝辞、教職員紹介のほか、オリエンテーションや施設見学などを行いました。



(上) 新入生挨拶。  
(左下) 客員教員挨拶。  
専門分野やゼミ内容等の説明がありました。  
(右下) 放送大学の各種資料を熱心に見る新入生。

10/1（日）青森 SC



(上) 新入生挨拶。  
(左下) 客員教員挨拶。  
(右下) 在学生代表者から、歓迎の歌を一曲披露していただきました。

10/8（日）八戸 SS



## 全学生必見！学生生活をスムーズにするために

新学期を迎え、これから放送大学での学習を始める新入生・在学生の方へのお知らせです。

### ■ 活用しよう「学生生活の栞」と「利用の手引き」

「学生生活の栞」および「利用の手引き」は、履修に関するきまりや、住所変更、証明書発行などの各種届出様式ほか、学生生活を送るうえで重要な事項が満載の冊子です。

新入生も在学生も大切に保管のうえ、必ずよく読んでご活用ください。



### ■ 学生証の交付手続きはお早めに

学生証は、図書室・視聴学習室の利用や面接授業の追加登録申請、単位認定試験を受験する際に必ず使用しますので、お早めに交付を受けてください。

学生証の交付は、原則として青森学習センター・八戸サテライトスペースの事務室窓口にて行っております。

交付手続きの際には、新規入学・継続入学生は入学許可書を、在学生で学生証の有効期限切れの方は有効期限切れ学生証をお持ちください。

なお、大学本部へ顔写真を登録していない方は学生証の発行ができませんので、システム WAKABA の「学生カルテ」または「学生生活の栞」巻末様式の「写真票」使用にて速やかに登録してください。

### ■ 学生教育研究災害傷害保険（学研災）への申込み（任意）

教育活動中や通学中における事故補償のための保険です。放送大学では通信教育に区分されており、保険料は100円、通学中の特約を含む場合は140円となります。保険期間は、入学後から学籍が続く限り最大6年間となります。

詳細につきましては、新入生の方は先に送付の『「学研災」のご案内』にてご確認ください。

# 平成 29 年度第 1 学期学位記授与式

平成29年10月1日(日)と10月8日(日)の両日、青森学習センターと八戸サテライトスペースにて平成29年度第1学期学位記授与式が行われました。今回、教養学部卒業を迎えた学生方は、青森SC・八戸SSをあわせて16名。式当日は出席者ひとりひとりに倉又所長から学位記が授与されました。

卒業生の皆様、このたびはおめでとうございます!!



青森学習センター



八戸サテライトスペース

## ★平成29年度第1学期 卒業生の内訳

- ・青森SC 教養学部 計 9名 生活と福祉…2名／心理と教育…4名／社会と産業…1名／人間と文化…2名
- ・八戸SS 教養学部 計 7名 心理と教育…3名／社会と産業…2名／人間と文化…1名／自然と環境…1名

## 第4回放送大学青森学習センター学生表彰

青森学習センター・八戸サテライトスペース所属学生の生涯学習に対する奨励を目的として、平成26年度より「放送大学青森学習センター学生表彰」を行っています。

今回は、青森学習センターの木村妙子さんが3つ目のコースを卒業されたことから、長年にわたり学業に励んだ功績を称え、所長から表彰状と図書券が授与されました。

このたびはおめでとうございます。今後も飽くなき向学心で学業に励んでください!!



— 卒業生たちの実りの秋 —  
学位記授与式スナップ集



## 卒業生のことば

「私を『大卒』にしてくれた放送大学、ありがとうございます！！」

青森学習センター 心理と教育コース 安保 さゆり

四大卒コースに自然に乗るものと思っていた私。  
14歳で病気。代わりに入ったのは大学「病院」。  
後に大検取得。いずれ健康体になり大学生活を送るものと信じ…叶わないままに気がついたらもうアトがない！  
東京の通信制大学に入学するも、スクーリングは連続6日間×2～3週。あまりの辛さに門前で中途挫折。  
PC通信のみで卒業できる大学もあり惹かれたが学費が4年で450万ほどかかる。  
放送大学の存在はずっと前から知っていたのに、ここにたどり着くまで長い歳月を要した。全県に学習センターがあり面接授業は1単位2日間！魅力的な授業の数々！実に様々なことがあった4年間の中、無事卒業の日を迎えられ、ひたすら感謝の念でいっぱいです。

### 「何故なんだろうの興味」

青森学習センター 社会と産業コース 木村 妙子

「生活と福祉コース」、「心理と教育コース」を修了し今回、「社会と産業コース」も修了できました。今まで放送大学に在籍し続けた理由は、私が理解できない事が教科書の内容として書かれている事です。例えば十分理解できたかどうかは疑問ですが「韓国朝鮮の歴史」の選択には東アジア情勢を知れば理解できるかなという思いがありました。家事を疎かにして集中出来る時間を与えてくれる家族には感謝し試験を受けています。

学友会の集いの会員は年齢に幅がありますが、皆の向かう方向が同じで心が通じ合い和み励まされます。もう少し頑張ってみようと思いますので皆様よろしくお願いたします。

### 「人に支えてもらいながらの卒業」

八戸サテライトスペース 心理と教育コース 高畑 和子

私は、歴史と人の心理に興味があり、放送大学で学び始めました。当初は卒業が目標でした。学んでいく中、心理学の奥深さを知り、認定心理士の資格を取りたいと思うようになりました。他県での面接授業にも出掛け、講師の方々から印刷教材では分からない生の話を聞かせていただきました。また、志を同じくする仲間と有意義な時間を過ごすことが出来ました。

卒業まで、6年半という時間がかかりました。その間、試験前は一緒に試験勉強・面接授業時のレポート作成の手伝い等々でたくさんの家族のサポートがありました。

学ぶ機会を与えてくれた家族に感謝しつつ、卒業出来た自分を褒めたいと思います。

### 「放送大学のみなさん、また会う日まで」

八戸サテライトスペース 心理と教育コース 續石 雅美

勉強の必要性を感じていた時、入試のいらない大学と知り即入学を決意。学習に前向きに取り組めなくなった時も多々ありました。面接授業で出会った仲間に刺激を受け、家族やサテライトの方々に励まされ、卒業までたどり着きました。今回は卒業を選択しましたが、再入学の日にもまたお会いしましょう。

### 「卒業！！」

八戸サテライトスペース 社会と産業コース 大久保 京子

仕事、家事など忙しくて大変だなあと思いましたが、あっという間の6年でした。

放送大学で学び、私自身は少しワンアップした様な気がします。有難うございました。

### 「子供とともに」

八戸サテライトスペース 人間と文化コース 角田 聡

子供には言って聞かせるより、勉強している父親の背中を見せてやろうと始めた放送大学。「大人なのに大学生なの？」「どうして大人になっても勉強するの？」と質問していた子供ももう6年生、一緒に卒業です。私の姿をしっかり見てくれたはず。こちらも見せるつもりが、見られてることで頑張れたのかも。お互い刺激あって成長している事に喜びを感じる学生生活でした。

# 放送大学学生研修旅行

古代・中世に夢を馳せる

～八戸市博物館・史跡根城の広場と是川縄文館～

平成29年9月16日（土）、放送大学学生研修旅行が行われました。今回の行き先は、八戸市博物館・史跡根城の広場と八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館。八戸市の歴史や文化に触れる研修旅行となりました。



## 八戸市博物館・史跡根城の広場

八戸周辺の文化を後世に伝える博物館です。考古・歴史・民俗・無形資料の4つの常設展示室をめぐることで、八戸の歩みを通観することができます。また、史跡根城の広場では、南部氏が築城し領地替えになるまで約300年間居城とした城を復原した本丸跡を見学できます。ボランティアガイドさんによる案内つきで見学してきました。

## 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

八戸市郊外にある是川縄文館は、是川遺跡に隣接した施設で、遺跡発掘の成果と重要文化財となっている出土品を中心に展示してあります。是川縄文人の暮らしを再現したシアターのほか、「縄文の美」「縄文の謎」国宝の土偶を展示する「国宝展示室」などで構成されています。こちらも、ボランティアガイドさんによる案内つきで見学してきました。



## 参加者の声

今回の研修旅行に参加された方々の感想をご紹介します。研修旅行は、通信制大学ではなかなか顔を合わせることの少ない、青森学習センターと八戸サテライトスペースの学生同士が、親睦を深められる貴重な機会でもあります。

記事を読んで興味を持たれた皆さん、次回はぜひご参加ください！

●9月15日の朝日新聞に是川縄文館の記事が出ていて、学芸員の方の話として「来た人はたいてい驚きます。土器ってこんなにきれいなのか」「赤い色は漆です。土器に漆を塗っていたんですね」と書かれていました。「赤い土器」ってどんな物なのか想像できないのですが、見てみてびっくり。本当に赤く、とても美しく、今まで見てきた土器と全然違ってました。また最後には国宝の「合掌土偶」を見学し、貴重な物をたくさん見学した、とても楽しかった研修旅行でした。



●地元にもこんな歴史や遺跡があったことにとっても興味深く思いました。また研修旅行があればぜひ参加したいと思います。近隣の何気なく通っていた道が違う景色に見え、古代人の知恵に勇気に感慨深いものを感じました。

●非常に有意義ながら、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。楽しみながら歴史を学ぶというのは中々ない体験で、次回もあれば是非参加したいです。参加者の皆さんも終始和気あいあいとしており、とても気持ちのよいものだったので、次回の参加を考えている方がいれば、是非参加してみたいと思います。皆さん、お疲れ様でした。

「参加者の声」次ページへつづく ⇒

●たいへん楽しく、有意義な1日でした。今回の2つの施設は初めて訪れる場所で、とても興味を持って参加しましたが、解説が分かりやすく、また、質問もしやすい雰囲気を作っていただいて、本当に有意義でした。次回も是非参加したいと思います。スタッフの皆さん、お疲れ様でした。

●今学期で卒業ができそうなので「思い出」にと思い、初めて参加してみました。「八戸市博物館」では縄文時代の土器や農民の食べ物、また、きれいに整備された「史跡根城の広場」では、中世のお城は天守閣がない、平地に堀や石垣を巡し、本殿を造る「平城」であることなどユーモアを交えた解説でした。「是川縄文館」は展示方法が工夫されていると思いました。

バスの中等では、面接授業でしか見たことのない人とも会話ができて、思い出に残る1日を過ごすことができました。

●1学期に面接授業で勉強した場所への研修ということで、大変楽しみにしていました。東北の辺境に、このような文化が存在していたことが不思議でもあります。私達が習ってきた日本の歴史認識も変わってきています（私の心の中では）。大変素晴らしい研修ありがとうございました。

●今回の研修旅行先に根城が含まれていると判り参加を決めました。というのは、以前八戸に住んでいた事があり「根城」というのは、多分お城の跡かな？どんなお城かな？と興味がありながら行く機会がなかったからです。

最初の見学先の八戸市博物館では根城南部氏によって造られた本丸跡が復原されていて、当主が来客と接見する主殿や馬屋・板蔵・工房等が、当時の柱の跡を元にして忠実に再現してありました。ボランティアガイドの軽妙な説明を聞きながら、建物の中に入って見られたので、その頃の人々の息吹を感じることができました。

次の見学先の是川縄文館では、是川遺跡から出土した様々な土器・土偶・石斧等を見学した後、風張遺跡から出土した、あこがれの合掌土偶に逢うことができました。さすが国宝だけあって、テレビで見るのとは違い迫力があって見入ってしまいました。本物は見飽きることはありません。

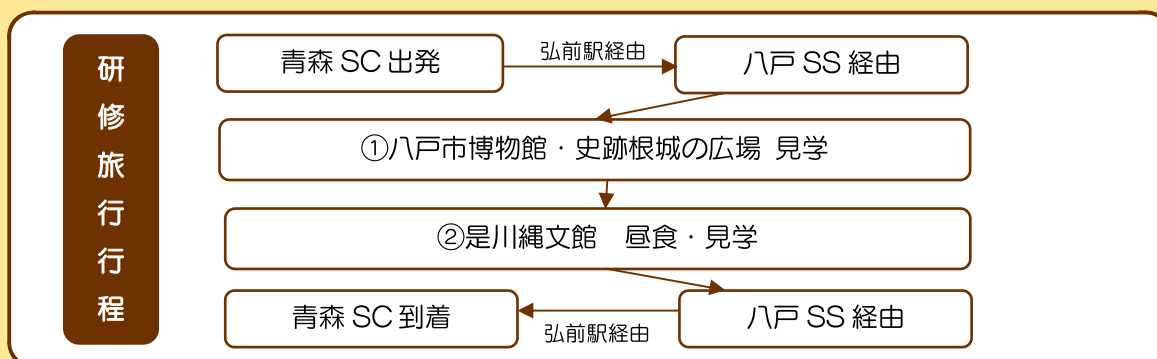
是非次回も本物を見る旅行をお願いしたいと思います。



●私のバス研修旅行への参加は、2回目です。八戸市博物館では、南部氏の歴史と八戸藩の誕生やくらし等を、隣接する史跡根城では、中世城郭の本丸跡の復原等を、そして、是川縄文館では、国宝の合掌土偶をはじめ縄文展示物の数々を見学しました。いずれも見応えがありました。

先生方を除く参加者とは殆ど初対面でしたが、行動を共にし、会話を通して何かしら得るものがありました。ありがとうございました。

●今年の研修旅行先の八戸市博物館・是川縄文館は初めて行くところであり、又、両館共ガイド説明付という事で楽しみにしていました。やはり、ガイドさんの説明を聞きながら観覧できたのは良かったと思いました。久しぶりに会えた学友とも色々お話をすることができました。昼食タイム内でのランチを食べそねたハブニングはありましたが、これも笑える思い出の1つになりそうです。ありがとうございました。



今年度の研修旅行は、青森学習センターの所在地・弘前市を出発し、八戸サテライトスペースの所在地・八戸市にある博物館や史跡・遺跡などをめぐり八戸市周辺の歴史や文化に触れる、日帰りバス旅行となりました。

## 下北ジオパークをサポートする 地域の人材の育成プロジェクト

放送大学青森学習センターでは、下北地域の日本ジオパークの申請にあたり、地域の地球科学的な特徴についての講演会を開催し、地域の人たちのジオパークについての関心を高める活動を支援してきました。

下北ジオパークが日本ジオパークとして認定された現在、それを利用し活用していく人材が必要です。そこで、放送大学青森学習センターでは、下北ジオパーク推進協議会と協力し、下北ジオパークをサポートする地域の人材の育成を応援するプロジェクトとして、公開講演会とジオサイト実地見学会を開催しました。倉又所長からのコメントと、当日の写真とともにご紹介します。



講演中の大森先生

9月2日の午後、3日午前の二日間にわたり、「下北ジオパークをサポートする地域の人材の育成」シンポジウムを学長裁量経費により開催した。1日目は、放送大学の  
大森聡一先生と弘前大学名誉教授の鎌田耕太郎先生の講演、2日目にジオサイトの  
ひとつ北部海岸の実地見学とシンポジウムをまとめるパネルディスカッション、という構  
成であった。

大森先生は放送大学の講義科目「自然科学はじめの一步」、「ダイナミックな地球」  
に基づき、地球科学全般の話をされ、そのなかで地球システム科学とジオパークの対象  
の構造的類似性を捉え、ジオパークのなかでジオだけにとどまらず、歴史・伝統・文化  
を含むジオストーリーを組み立てることの重要性を指摘された。

鎌田先生は、下北ジオパークのいろいろなジオサイトを紹介され、実地見学する北部  
海岸についての予備知識を与えてくれた。



熱心に聴講する参加者と講演中の鎌田先生

実地見学では、鎌田先生が海辺の砂を手で盛り上げながら、砂堆ができ、それが侵食  
され、といった一連の流れを説明された。

最後のパネルディスカッションでは、パネラーをお願いした放送大学の学生さんや、フ  
ロアから活発な意見が出され、意見の交換を行うことができた。

今年の3月、学位記授与式の後の祝賀会で、お互いに酔った状況の下、大森先生に  
下北ジオパークについてのシンポジウムを開きたいと声をかけたところから始まった計画  
を、完遂することができた。



地層ができる一連の流れの説明

### 《開催スケジュール》

#### 【公開講演会】

日 時：9月2日(土) 13:30~16:45

会 場：むつ来さまい館

講演①：地球科学の考え方

—『ダイナミックな地球』の視聴を通して—  
大森 聡一 講師(放送大学准教授)

講演②：北部海岸ジオサイトで学ぶ

海面変動と地層の形成

鎌田 耕太郎 講師(弘前大学名誉教授)

#### 【ジオサイト実地見学会】

日 時：9月3日(日) 9:30~12:30

見学先：北部海岸ジオサイト

日 程：北部海岸ジオサイト見学(9:30~11:30)

パネルディスカッション(11:30~12:30)



地層の実地見学



北部海岸の地層



実地見学日はお天気に恵まれました



パネルディスカッションの様子



# 学生生活をもっと楽しく!各種学生団体のごあんない

## 同窓会

「同窓会行事のお知らせ&同窓会をよろしくお願ひします」  
青森同窓会会長 関川 宏明

同窓会では、5月13日に恒例の定例総会を弘前文化センターで開催したほか、9月2・3日には、他同窓会との交流事業である東北・北海道ブロック同窓会交流会(山形学習センター開催)に参加しました。

また、昨年につき、卒業生・修了生を囲んでの祝賀会を年末に開催する予定です。例年、卒業生・修了生はもちろん、在学生や学習センターの方々からもご参加いただいております。詳細が決定しましたら、学習センター・サテライトスペースのご協力を得てお知らせしますので、多くのご参加お待ちしております。

今後も、同窓生・在学生が交流を深める機会を作っていきます。よろしくお願ひします。



祝賀会の様子(→)

## 学友会

「80ミリ以上は、危ない」  
学友会会長 内山 宏

今年もまた豪雨災害が続いている。報道で1時間雨量何ミリ、とテロップが出るが理解している大衆はどの位いるのだろう。100センチ×100センチの箱に1時間の雨で高さ10ミリ、20ミリと計っていく。人の受けるイメージは10~20ミリ未満がザーザーと降る。20~30ミリ未満がどしゃ降り、30~50ミリ未満がバケツをひっくり返したように降る。50~80ミリ未満が滝のように降る。そして80ミリ以上が息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

『変化する地球環境』『身近な気象学』で学んだ。地球環境を保つため地球は七転八倒しているのだ。ところであなた、学友会で雨宿りしませんか。



学友会恒例の観桜会(→)

※学友会の詳細は、9月に新入生宛送付の「入会のお誘い」を参照。

## ミステリーサークル

「ミステリーサークル・会員募集!」  
ミステリーサークル総長 上野 光弘

八戸サテライトには、ミステリーサークルというサークルがあります。学生相互の研鑽、親睦と交流を目的に活動しています。

マジックはコンテストで最優秀賞、部門賞、特別賞受賞、写真はコンテスト特別賞受賞及び賞金獲得、絵画は絵画展入選で東京都美術館に展示され、それぞれ実績も出してきました。

会費無料で活動していますが、品質も確保しています。

学習相談も実施しており、会員は20代~60代と幅広く男女半々です。入会したい方は、サテライト事務にご連絡ください。月に一回ペースでの部屋を確保しての活動日には、お子さん連れやお友達と一緒に大丈夫ですので、ぜひ一度遊びにいらしてもらえたらと思います。



八戸SS文化祭での写真展示(→)

## サイコロサークル

「いっしょに知る事を楽しみましょう」

弘大の平岡名誉教授によるゼミ形式でスキナーの著作を勉強中です。成人式前の方から人生の良き経験者まで幅広い世代のメンバーが月に2回のペースで集い、著作内容を通じて体験を紹介したり、気軽に意見交換しています。先生からの専門的な解説は知識等の習得や心理学的な視点を養うのに役立ちます。メンバーとの情報交換などは履修を進めていく上でも大変参考になりますし、勉強以外でもお互いに良い影響を及ぼし合いながら学生生活を楽しんでいます。

(正子)



平岡先生との学習会の風景(→)

※上記4団体に入会ご希望の方は、青森学習センターまたは八戸サテライトスペースへお問い合わせください。

### ★学生団体の設立について★

学生が研究やスポーツなどのため、サークル・学生団体などを結成しようとするときには、学生(科目履修生・修士科目生以外)の中から責任者を定め、「学生団体設立願」等を4月又は10月に責任者が所属する学習センターへ提出し、設立の許可を受ける必要があります(詳細「学生生活の葉」教養学部版P116参照)。詳細については、青森学習センター事務室へお問い合わせください。

# 平成29年度第2学期 学習相談とゼミのご案内

★学習相談またはゼミを希望する場合は、事務室へお申し込みください(電話でも可)。ゼミ日程等詳細につきましては、事前にお送りした「平成29年度第2学期10月～3月の学習相談とゼミについて」案内チラシにてご確認ください。

★ゼミは単位にはなりません、所長・客員の先生や他の学生たちと学べる良い機会です。お気軽にご参加ください。

★ゼミ開講日時は都合により変更・中止となる場合があります。その際はセンター内の掲示にてお知らせしますが、掲示が見られない場合は、お電話にてお問い合わせください。

センター	曜日	学習相談	ゼミ
青森 学習 センター	火 土	 <b>倉又 秀一 先生</b> (学習センター所長) 学習相談分野: 物理学全般、数学、統計 相談日: 火～土(祝日を除く)	「朝永振一郎 “物理学とは何だろうか” を読む(V)」 指定の土曜日13:30～15:00 ※教科書の指定が2冊あります。
	水	 <b>青山 正和 先生</b> (弘前大学農学生命科学部 教授) 学習相談分野: 土壌学 相談時間: 10:00～12:00	『『大地の五億年 せめぎあう土と生き物たち』を読む』 指定の水曜日10:30～11:30 ※教科書の指定が1冊あります。
		 <b>水田 智史 先生</b> (弘前大学大学院理工学研究科 准教授) 学習相談分野: 生命情報学 相談時間: 12:30～14:30	「生物学超入門」 指定の水曜日13:00～14:00 ※教科書の指定が1冊あります。
	金	 <b>仁平 政人 先生</b> (弘前大学教育学部 講師) 学習相談分野: 日本近現代文学 相談時間: 10:00～11:45	「太宰治『お伽草紙』を読む」 指定の金曜日10:30～11:30 ※教科書の指定が1冊あります。
		 <b>安達 知郎 先生</b> (弘前大学教育学部 講師) 学習相談分野: 臨床心理学 相談時間: 12:00～14:00	『『方法としての面接』 / 『精神療法家の仕事』を読む』 指定の金曜日12:30～13:30 ※教科書の指定が2冊あります。
		 <b>工藤 せい子 先生</b> (弘前大学大学院保健学研究科 教授) 学習相談分野: 看護倫理学、看護技術学 相談時間: 14:30～16:30	「看護技術学」 指定の金曜日14:30～16:00 ※教科書の指定が1冊あります。
	土	 <b>カーペンター ビクター リー 先生</b> (弘前大学人文社会科学部 特命教授) 学習相談分野: 国際政治学 相談時間: 14:30～16:30	「英語で文章作成する」 指定の土曜日15:00～16:00 ※教科書の指定はありません。
八戸 サテライト	火	 <b>根城 隆幸 先生</b> (八戸学院大学ビジネス学部 教授) 学習相談分野: 教職課程、学校教育、生涯教育 相談時間: 14:00～16:00	「入門簿記」 指定の火曜日14:30～15:30 ※教科書の指定が1冊あります。
	金	 <b>井元 紀子 先生</b> (八戸学院大学健康医療学部 教授) 学習相談分野: 分子生物、微生物、栄養学 相談時間: 10:00～12:00	「健康と栄養」 指定の金曜日10:30～11:30 ※教科書の指定はありません。

# 10月・11月・12月・1月のスケジュール

閉所日
  面接授業
  試験
  通信指導提出締切

10月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

11月	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		

12月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

1月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

- 年末年始閉所 …12月29日(金)～1月3日(水)
- 臨時閉所 …1月4日(木)
- 年末年始の放送教材貸出について …12月22日(金)～12月28日(木)の間に貸出した放送教材の返却期限は、すべて1月5日(金)となります。
- 入構規制のお知らせ …1月13日(土)～14日(日)は、弘前大学で大学入試センター試験実施のため、自動車での入構は一切できません。青森学習センターへお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。また、入構時には学生証の提示を求められる場合がありますので、必ずお持ちください。

## 10月

- 1日(日) 平成29年度第1学期学位記授与式・平成29年度第2学期入学者のつどい(青森)
- 8日(日) 平成29年度第1学期学位記授与式・平成29年度第2学期入学者のつどい(八戸)
- 14日(土) 平成29年度第2学期面接授業空席発表(12時)  
追加登録事前申請受付開始(～10/19)
- 20日(金) 平成29年度第2学期面接授業  
追加登録先着申請受付開始(～各科目の受付期限まで)

### ■面接授業■

- 14日(土)～15日(日) 「楽器から考える人間と文化」(八戸)
- 21日(土)～22日(日) 「白神学－白神の動物と植物」(青森)  
「人工知能と次世代セキュリティ」(八戸)
- 28日(土)～29日(日) 「身近なデータから学ぶ統計の話」(青森)  
「社会の中で萌芽する技術」(青森)  
「身のまわりの微生物」(八戸)

## 11月

- 1日(水) 教員免許更新講習(冬期)受付開始(～11/24)
- 9日(木) 平成29年度第2学期通信指導提出受付開始(WEB、10時～)
- 16日(木) 平成29年度第2学期通信指導提出受付開始(郵送)
- 24日(金) 単位認定試験受験センター変更願提出締切(郵送本部必着)  
教員免許更新講習(冬期)受付締切(17時まで)
- 30日(木) 平成29年度第2学期通信指導提出締切  
(郵送は本部必着、WEBは17時まで)

### ■面接授業■

- 4日(土)～5日(日) 「心理学実験3」(青森)  
「寺山修司まるごと体験」(青森)  
「心理学実験2」(八戸)
- 11日(土)～12日(日) 「縄文時代の暮らしと文化」(青森)  
「社会福祉学への招待」(八戸)
- 18日(土)～19日(日) 「脳の活動から心を探る」(青森)  
「土木・都市と文明」(八戸)
- 25日(土)～26日(日) 「英語能力:複雑・正確さ・流暢さ」(青森)  
「食生活から考える健康維持と寿命」(青森)

## 12月

- 1日(金) 平成30年度第1学期出願受付開始(WEB・郵送)  
(～3/20、教養学部、大学院修士選科生・修士科目生)  
単位認定試験受験センター変更願締切(WEB24時まで)

### ■面接授業■

- 2日(土)～3日(日) 「プログラミングの初歩」(青森)  
「是川遺跡から学ぶ考古学」(八戸)
- 9日(土)～10日(日) 「病む人の心と看護ケア」(八戸)
- 16日(土)～17日(日) 「裁判員裁判のための法的推論」(八戸)

## 1月

- 4日(木) 臨時閉所日 ※青森・八戸
- 19日(金) 平成29年度第2学期単位認定試験(大学院)(～1/20)
- 21日(日) 平成29年度第2学期単位認定試験(教養学部)(～1/28)
- 26日(金) 単位認定試験期間中閉所日
- 30日(火) 単位認定試験最終日翌々日閉所日

### ●平成30年度第1学期 学生募集●

平成30年度第1学期入学の、教養学部生・大学院修士選科生および修士科目生を募集します。  
詳細は放送大学ホームページにてご確認ください。

**募集期間：12月1日(金)～3月20日(火)**



## 事務室からのお知らせ



### 通信指導を提出しましょう (詳細「学生生活の栞」教養学部版P 6 3、大学院版P 5 8参照)

通信指導を提出し、合格して初めて単位認定試験の受験資格が得られます。未提出あるいは提出期限までに到着しなかった場合は評価の対象とはならず、単位認定試験が受けられませんので、余裕を持って提出してください。

11月6日までに通信指導問題が届かない場合は、大学本部(総合受付 TEL:043-276-5111)に連絡してください。

#### 【提出期間】

- ・郵送の場合…11月16日(木)～11月30日(木) ※大学本部必着
- ・「Web 通信指導」の場合…11月9日(木) 10:00～11月30日(木) 17:00



### 受験センター変更をご希望の方へ (詳細「学生生活の栞」教養学部版P 6 8、大学院版P 6 3参照)

単位認定試験は、原則として所属学習センターにおいて受験することになりますが、転勤・転居等のやむを得ない事情および通勤・通学等地理的な関係等のため、所属学習センター以外での受験が便利な場合は、受験センターの変更手続きをしてください。

#### 【手続き方法と受付期間】

- ・システム WAKABA での手続  
…10月1日(日) 9:00～12月1日(金) 24:00
- ・『単位認定試験受験センター変更願』(「学生生活の栞」巻末様式)での郵送手続  
…10月1日(日)～11月24日(金)  
※大学本部学生課単位認定試験係必着(〒261-8586千葉市美浜区若葉2-11)

**※住所変更手続きだけでは受験センターの変更はできません。受験センター変更をご希望の方は、上記の方法で必ず受付期間内に手続きをしてください。**

### 住所変更手続きについて (詳細「学生生活の栞」教養学部版P 8 4、大学院版P 7 4参照)

入学後「現住所」「連絡先の電話番号」に変更があったときは、「学生生活の栞」巻末様式の『住所等変更届』を、速やかに下記宛先へ提出してください。(システム WAKABA から届出できます。)なお、「現住所」の変更は、最寄りの郵便局にも「転居届」を提出してください。通信制大学にとっては、郵便は「命綱」のようなものです。変更があった場合は必ず届出を行ってください。

【提出先】 教養学部…所属の学習センター・サテライトスペース  
大学院…修士全科生…大学本部教務課大学院企画・入試係  
修士選科・科目生…大学本部学生課入学・履修係

### 各種証明書の発行について (詳細「学生生活の栞」教養学部版P 1 0 0、大学院版P 8 5参照)

証明書の発行を希望の際は、「学生生活の栞」巻末様式の『諸証明書交付願』に所要事項を記入のうえ、発行手数料(1通につき200円)を添えてお申込みください。

郵送にてお申込みの方は、①『諸証明書交付願』 ②発行手数料(1通につき200円) ③返信用封筒(長形3号、切手貼付、宛名明記)を青森 SC へお送りください。発行手数料については郵便定額小為替証書をご使用ください。

また、発行する証明書の数や種類によって重量が変動しますので、返信用封筒に貼付ける切手は92円以上をお勧めします。証明書の種類によっては発行まで2週間程度を要する場合があります。

**※諸証明書発行については、「学生生活の栞」または「利用の手引き」にて詳細を必読のうえ申請してください。**

### 再視聴施設をご利用ください

学習センターやサテライトスペースのほかにも、放送授業を再視聴できる施設を設けています。青森県内には、青森市の青森市民図書館内に「青森学習センターあおり校」、むつ市のむつ市立図書館内に「青森学習センターむつ校」がありますので、お近くにお住まいの方は是非ご利用ください。

- ご利用の際は、各図書館の利用案内に従ってください。また、利用の際には学生証をお持ちください。
- 視聴はどなたでもできますが、教材の館外貸出は放送大学学生に限ります。
- 上記再視聴施設では、学習相談や各種手続き等の受け付けは行っていません。
- 再視聴施設へのご要望・放送教材のリクエスト希望については、青森学習センターへお寄せください。



青森学習センター	〒036-8561 青森県弘前市文京町3 コラボ弘大7階 TEL: 0172-38-0500 FAX: 0172-38-1299 Twitter: @aomoricenter
八戸サテライトスペース	〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22 八戸地域地場産業振興センター(ユートリー4階) TEL: 0178-70-1663 FAX: 0178-70-1667
青森学習センターむつ校	〒035-0073 青森県むつ市中央2-3-10 むつ市立図書館内 TEL: 0175-28-3500 FAX: 0175-28-3400 (※学習相談等のお問い合わせは青森 SC へ)
青森学習センターあおり校	〒030-0801 青森県青森市新町1-3-7 青森市民図書館内(アウガ8階) TEL: 017-776-2455 FAX: 017-776-2400 (※学習相談等のお問い合わせは青森 SC へ)
放送大学ホームページ	<a href="http://www.ouj.ac.jp/">http://www.ouj.ac.jp/</a>